めばえ通信

通巻 347 号
令和8年1月30日
発行/こども発達センターめばえ

『3年間「一日お母さん先生」に参加して』

「今日はありがとうございました。めばえ最後のお母さん先生は、とても楽しめました。Aは普段の様子と変わらずマイペースに遊んでいたので、ゆっくりすることができました。～省略～はさみの使い方もクラスのみんな上手で、Aを含めみんなの個性あるサンタができて感動しました。年少の時など、一日お母さん先生が嫌で嫌でしょうがなかったけど、我が子の成長と共に、参加することがだんだん楽しくなってきました。ありがとうございました」

めばえに通う5歳児のお母さんが、一日お母さん先生に参加してくださった時に寄せてくれた感想の一部です。Aのお母さんは、3歳児のお母さん先生の時は、他児との関わり方がわからないこともあり、お母さん先生だけでなく保育参加日や行事に参加することも苦手だったそうです。全障研広島乳幼児サークルが編集した『療育って楽しい！』の序文の中で、白石正久・恵理子先生は「子どもだけでなく親にとっても集団の中に身をおくことは、ある意味、試練です。わが子が集団への参加に抵抗し、発達の矛盾の前で立ちどまる姿に直面することは、親にとっても自分自身の現実と向き合う時間になるのですから」と書かれています。これまで、Aのお母さんからそういったお話をはっきり伺ったことはありませんでした。苦手さを感じても、こどもの成長を信じ参加し続けてくれたお母さん、本当に感謝しかないと改めて感じました。

今回お母さんは、*「児の成長と共に参加することがだんだん楽しくなってきた」*とも話されていました。それまで他児に関心を寄せていなかったAが、他児が朝の会で立っていた時に「座るよ」と声をかけ気にする場面も目にされ、本当に驚かれたそうです。先程の序文の続きには、「しかし、その試練を糧として、子どもは仲間の中で育つ喜びを覚え、親も子どもの内なるがんばりに共感できるまなざしを育てていくのです。親はその道中の中で、この子の親としての人生を歩いていこうと思い立つ日があるのです」とあります。Aのお母さんだけでなく、保護者の多くの方が、子育てを通して何度も自分自身をつくりかえ、一人の人間としてかけがえのない歩みを進めていることを、お話を伺い文章等で知るたびに私達も胸が熱くなります。

保護者の皆さん、参加するために諸々の調整して、保育参加も含め一日お母さん先生に参加してくださり、ありがとうございます。「この子の気持ちをわかりたい」と願う保護者の皆さんから、私達は多くを学ばせてもらっています。糸賀一雄先生は著書『福祉の道中』の中で、「子どもたちは、集団の中にあってこそ発達していきます。親は、育ち合う子どもたちをみつめ、自分も独りではないことを知り、人生の同伴者として、親同士の絆を結んでいきます」と記されています。子育てを通して心を動かされることは多いと思いますが、後で振り返った時に、“真摯にこどもと向き合ってきたあの時期は尊くていい時間だった”と思ってもらえたら、私達もうれしいです。

こども発達センターめばえ　所長　鈴木紀子

みなみめばえのあるグループでの『呼名（みんなの前で名前を言う活動）』の一コマ。自分にスポットライトが当たる『呼名』がみんな大好き。一番に呼名をしたい子が数人いて、一番をめぐってかなり熾烈な戦いが繰り広げられることもあったりします。

職員は、「決まらないねえ。じゃあ、順番をホワイトボードに書くから、やりたい番号で手を挙げてね。そこに名前を書いていくよ」と視覚化します。すると、こどもたちは、一番目に何人の子がエントリーしていて、あいている番号は何番かがわかるので、気持ちを整理しやすくなります。

一番にエントリーした二人の会話。

「〇〇くんは、前に二番にやったから、今日も二番やって」「え～そんなのイヤ」

「ジャンケンで決めればいいじゃん」と他の子。「ジャンケンはだめ」「え～」

「じゃあオニぎめできめる？」とまた他の子。

「いや」「え～」（以下くりかえし）

そういう時、職員は「どうすればいいかなあ？」「困ったねえ」「〇〇くんは、こう言ってるよ」等と橋渡しして、こども自身に考えるよう働きかけます。職員が善悪を判断したり意見を言ったりすると、こどもが考える機会が減ってしまいます。こどもの思考を促すことで、深い学びの実現へと近づくからです。

しばらくして、二人のうちの一人が「じゃあ百番やる」と、一番をはずした番号を言いました。ちなみに百人はいないので百番目はないのですが、特別に百番という番号を作ってあげます。すると、にっこり。その子は『一番にはなれなかったけれど、ぼくは百番になるって自分で決めたから、それでいい』と自分を納得させていたのでしょう。誇らしげな表情をしていました。

譲った子の成長だけではなく、ジャンケンやオニぎめを提案した子が一番争いを他人事ではなく、自分事としてコミットしていたことも嬉しい育ちです。

４月に実施した個別支援計画立案のための保護者との面談で、このグループの子たちには自分の気持ちを言葉で表現することが苦手で黙り込んだり、行動で派手に表現することが多いという課題があることがわかりました。そこで、こどもが自分の考えを表現し、こども同士で考え、自分の気持ちを自発的にコントロールする力がつく取り組みをしようと考えました。そういった力は『非認知能力』と言われます。

『非認知能力』が注目されるきっかけになったのは、アメリカで実施されたペリー就学前計画という研究によります。３歳のこどもとその保護者に２年間学校でのレッスンや家庭訪問、保護者への教育など

が行われ、その後５０年以上にわたり行った追跡調査研究です。こどもたちが４０歳になった時の追跡調査では、犯罪率は低い一方で、年収が高く経済的に安定していることが明らかになりました。さらに５５歳の追跡調査でも犯罪率は低く、より健康であったと報告されています。

３歳頃の働きかけで一時的に知能（ＩＱ）が伸びたようですが、次第に薄れていったようです。そのため、知能を高めるよりも、こどもや保護者への教育によりこどもの粘り強さや自分を好きになる気持ち、自制心といった『非認知能力』が向上したことで、生活に違いが表れていると考えられました。

幼少期に自分に価値があると感じ、自分の行動や感情をコントロールする力を持っている人のほうが、その数十年後により健康で、幸福に過ごすことができる可能性があるといえます。同じような研究がイギリスやニュージーランドでも行われています。結果はほぼ同じで、大人になった時の健康や幸福度、犯罪率の低さ、薬物依存の低さが報告されました。

日本では、さかのぼること2018年から新要領・新指針が施行され、そこで「子どもに育てたい資質・能力」のひとつに挙がったのが‘学びに向かう力、人間性等’、いわゆる『非認知能力』です。‘自分のことを好きだと思える’‘意欲をもって自ら考え行動する’、‘自分で考えて行動し、仲間と話し合うことで問題を解決する’、‘ねばりづよく取り組む力’‘気持ちを立て直す力’といった自己コントロールや生きる力を育てる考え方です。

ここで注目なのですが、大人に言われてやったり鍛錬したり我慢したりして上記の力を身につけるのは、ちがうそうです。さまざまな調査からこども自身が能動的に、主体的に行動しているときにこそ学べることがわかっています。そのため、大人が叱ったり注意したりして一見おとなしく気持ちをコントロールしているようであっても、本当の力ではないそうです。何度も同じ注意や約束をしなければならない場合、その注意や約束は大人目線であり、こどもが主体的に考えたのではないため、残念ながら定着しないのです。

先ほどのグループに戻ると、呼名の後に渾身のズッコケをして見せる子。それを真似する他の子。みんなで大笑い。どの子も心地よく表現できるようになりました。

一方で、活動では職員が意図した流れにのらず、一見まとまりがなく、こどもたちが職員の言うことを聞いていないような姿も見えてきています。これに対して「ちゃんと椅子に座ってください」「いい姿勢している子から、当てます」等と言えば、こどもたちはその時は言うことを聞くことでしょう。

しかし、私たちは大人の言うことを聞く子になってほしいのではなく、その後何十年も影響し幸せな大人になれる『非認知能力』をつけてもらいたいと考えています。これからも、こどもたちが幸せなおじさんとおばさんになった姿をニマニマと想像しつつ、楽しくこどもたちと接したいと思います。

参考文献『Pot　2018年8月号　非認知能力を徹底解説』チャイルド本社
『発達 170号　非認知能力の発達と保育・教育』ミネルヴァ書房

こども発達センターみなみめばえ
発達相談員　村松　優子

～嘔吐や下痢の対応について～

冬は気温が下がり、空気も乾燥してくるため、こどもたちは体調を崩しやすい季節です。県内でも、嘔吐や下痢をともなう胃腸炎が増えてきています。感染を広げないために、めばえでは汚れ物の扱いを次のようにしています。ともだちの吐物で汚れてしまった場合も同じ対応となりますので、ご理解とご協力のほど、お願いいたします。

汚れ物について

汚れた衣類などは洗わず、ビニール袋に入れてそのままお返しします

また、めばえは集団生活の場です。感染の拡大も早く、場合によっては重症化しやすいため、みんなで感染予防に努め、注意をしていくようご協力をお願いします。

感染後の登園の目安

- 嘔吐や下痢がおさまり、普段の食事が取れるようになった
- 水分がしっかりとれ、普通便の確認ができた
- 解熱し、元気が戻った

≪お知らせ≫

感謝の心

久保田 積様　リンゴ多数
(株)モリヤ様　クリスマスブーツ多数
原田 日出志様　みかん２箱
グリーンストラスミュージック様 クリスマス会ボランティア
静岡県労働金庫 掛川支店様 おえかきせんせい、絵本
皆様の善意、ありがとうございました。

≪２・３月のおもちゃ図書館≫

菊川おもちゃ図書館あそぼ
2月8日（土）／3月8日（土）
開館場所：プラザけやき
10：00～11：30（2月8日：201 会議室）
（3月8日：検診ホール）
13：30～15：30（児童館あそぼの部屋）
連絡先：0537－37－1135

掛川キューピーおもちゃ図書館
会館場所：総合福祉センター
1階西側　Myラボ
2月15日（日）／3月15日（日）
10:00～12:00　13:00～15:00
連絡先：0537－22－1309

発行者・お問い合わせ／こども発達センター めばえ
TEL）0537－23－2312　FAX）0537－23－0008
東遠学園　めばえ　検索
学園ホームページ

2月の予定

2月			心理	バス ○14:30 発 △13:00 発
1	日			
2	月			○
3	火	節分会		○
4	水			○
5	木			△13:00
6	金			○
7	土			
8	日			
9	月	個別面談週間（～2/27まで）		○
10	火			○
11	水	建国記念の日		
12	木	保護者参加日 （クラス懇談・保護者役員決め）		△13:00
13	金			○
14	土			
15	日			
16	月			○
17	火	毎日通園見学会（行政向け）		○
18	水			○
19	木			△13:00
20	金			○
21	土			
22	日			
23	月	天皇誕生日		
24	火			○
25	水			○
26	木	保育参加日（図書館司書さんによる絵本の読み聞かせ）		×
27	金			○
28	土			

『かぜは万病のもと』

かぜとは「かぜ症候群」と言われ、鼻やのどに起こる炎症の事です。「ただのかぜ」と軽く考えてしまいがちですが、悪化すると気管支炎や肺炎、中耳炎などになることもあります。

日ごろから予防を心がけて、元気に冬を過ごしましょう！

お知らせ

○保護者参加日について

第2回クラス懇談について

日時：2月12日(木)　10：00～11：00

場所：ぴいまん　外来棟1階
にんじん　相談室
たまねぎ　外来棟2階
じゃがいも　和室

目的：①クラスでの1年間の活動報告
②保護者間での情報共有や相談・交流の機会

その他：11：00過ぎから来年度保護者会役員決めを行います。今年度の保護者会3役の方と年少中児保護者の方は、クラス懇談後、外来棟1階にお集まりください。

○個別面談週間について

2/9（月）～2/27（金）

日程については、別紙をご確認ください。

3月の予定

3/12日（木）保育参加日

16日（月）～23日（月）
短縮日課：13時降園

24日（火）卒園式（年長児のみ）

25日（水）修了式（年中少児のみ）

26日（木）～春休み

かぜ予防6カ条

①うがい・手洗い
②汗をかいたらすぐに着替える
③バランスの良い食事
④部屋の喚起と加湿
⑤規則正しいリズム
⑥人混みを避ける